

第132号

## お茶の水女子大学学报

平成2年1月1日  
お茶の水女子大学庶務課

## 目次

関係法令	1
人 事	2
学 事	4
平成2年度お茶の水女子大学学生募集要項(細目)	4
平成2年度お茶の水女子大学大学院理学研究科 修士課程学生第2次募集要項	12
平成2年度お茶の水女子大学大学院理学研究科 (修士課程)各専攻課程の研究概要	14
諸 報	16
学長懇話会について	16
学位記授与式について	16
奨学金授与式について	16
永年勤続者表彰について	17
科学研究費補助金交付決定について	18
海外渡航	18
研修	19
健康診断	19
レクレーション行事	20
職員の住所等変更	21
訃報	21
日 誌	21

## 関係法令

## 【法 律】

- 一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律(法律第109号12月13日官報)

## 【規 則】

- 人事院規則1-4(現行の法律、命令及び規則の廃止)の一部を改正する人事院規則(人事院1-4-8、12月13日官報)
- 同規則9-6(俸給の調整額)の一部を改正する人事院規則(同9-6-14)
- 同規則9-8(初任給、昇格、昇給等の基準)の一部を改正する人事院規則(同9-8-11)
- 同規則9-24(通勤手当)の一部を改正する人事院規則(同9-24-4)
- 同規則9-34(初任給調整手当)の一部を改正する人事院規則(同9-34-5)
- 同規則9-40(期末手当及び勤勉手当)の一部を改正する人事院規則(同9-40-7)
- 同規則9-49(調整手当)の一部を改正する人事院規則(同9-49-5)
- 同規則9-57(教職調整額の支給方法等)の一部を改正する人事院規則(同9-57-5)

# 人 事

## ○人事異動

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
元.10.26	清 田 淳 子	育児休業許可 期間 2.8.29まで	休職	(附属中学校教諭)
"	渡 邊 朋 華	教諭(附属中学校) 任期 2.8.29	臨時的任用	
元.11.1	林 伸 早	文部事務官(附属図書館)	採用	
"	桜 井 明	施設課	配置換	施設課
"	松 下 雅 彦	家政学部	配置換	会計課
元.11.12	齋 藤 縫 子	教諭(附属中学校) 任期元.12.23まで	臨時的任用	
元.11.16	大 橋 昌 子	生活環境研究センター長 事務代理(免)	公の名称	(生活環境研究センター 教授)
元.12.1	竹 内 順 治	復職	復職	理学部助教授
元.12.7	増 田 伸 江	職務復帰	"	附属小学校教諭
"	植 松 修 二	平成元年12月6日 任期満了退職	退職	"
元.12.16	仲 西 正	講師(家政学部)	昇任	家政学部助手
"	神 埜 正 子	助手(家政学部)	"	家政学部教務職員

## ○非常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
元.10.31	田 辺 幹 子	辞職承認		会計課
元.11.1	岡 部 朝 子	事務補佐員(会計課)	元.11.1～2.3.31	
"	原 弘 子	事務補佐員(附属図書館)	"	
"	浜 田 陽 子	教務補佐員(家政学部)	"	
"	金 和 子	"	"	
"	塩 原 みゆき	"	"	
元.11.16	田 中 美枝子	教務補佐員(理学部)	元.11.16～2.3.31	
元.11.30	小 畑 美佐子	辞職承認		女性文化研 究センター
元.12.16	林 陽 子	事務補佐員(家政学部)	元.12.16～2.3.31	

## ○非常勤講師

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	本 務
元.10.17	三 浦 剛	講師（附属中学校）	元.10.17～元.12.22	
"	今 村 堅 一	"	"	
元.10.18	前 野 典 子	講師（附属小学校）	元.10.18～2.3.31	
"	川那子 聖 子	"	"	
元.11.1	作 道 恒太郎	講師（理学部）	元.11.1～2.3.31	筑波大学教授
"	酒 井 彦 一	"	"	東京大学教授
"	星 元 紀	"	"	東京工業大学教授
"	竹 市 雅 俊	"	"	京都大学教授
"	上 野 俊 一	"	"	国立科学博物館 昆虫第二研究室長
"	坂 齊	"	"	農業生物資源研究所 生理活性物質研究室長
"	坂 田 洋 一	"	"	自治医科大学助教授
"	鎌 田 佳 伸	講師（家政学部）	"	東京農工大学助手
元.12.1	相 澤 洋 二	講師（理学部）	元.12.1～2.3.31	早稲田大学教授
"	川 端 節 彌	"	"	高エネルギー物理学研究所 助教授
"	妹 尾 学	"	"	東京大学教授
"	豊 島 聰	"	"	東京大学助教授
"	小 山 昇	"	"	東京農工大学教授
"	高 橋 道 子	講師（家政学部）	"	東京学芸大学助教授
"	小 川 博 久	"	"	東京学芸大学教授
"	銀 林 浩	"	"	明治大学教授

# 学 事

## ○平成2年度お茶の水女子大学学生募集要項（細目）

### 1. 学部・学科別募集人員

学部	学 科		募集人員	備 考
文 教 育 学 部	哲 学 科		24	
	史 学 科		23	
	地 理 学 科		22	推薦入学 5 名程度を含む
	国 文 学 科		35	推薦入学 7 名程度を含む
	外 国 文学科	中国文学・中国語学	12	
		英 文 学 ・ 英 語 学	37	
		仏 文 学 ・ 仏 語 学	8	
	教 育 学 科	教 育 学	23	
		心 理 学	17	
	舞踊教 育学科	舞 踊 教 育 学	18	
		音 楽 教 育 学	13	
	計		232	
※理 学 部	数 学 科		25	推薦入学 7 名以内を含む
	物 理 学 科		25	推薦入学 5 名以内を含む
	化 学 科		25	
	生 物 学 科		27	推薦入学 7 名以内を含む
	計		102	
家 政 学 部	児 童 学 科		40	推薦入学 5 名以内を含む
	食 物 学 科		37	
	被 服 学 科		36	
	家 庭 経 営 学 科		33	
	計		146	

※平成2年度において、理学部に情報科学科（定員40名）の新設を計画している。この計画については、関係法令の制定及び平成2年度予算の成立との関連から現在未確定であるが、詳細は、政府予算案の決定後、平成2年1月頃追加学生募集要項を発表する予定である（概要に関しては12頁参照のこと）。

### 2. 出願資格

下記のいずれかに該当する女子で、かつ、平成2年度大学入試センター試験を受験した者

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

及び平成2年3月修了見込みの者

- (3) 学校教育法施行規則第89条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

## 3. 大学入試センター試験で受験を要する教科等

学部等名	受験を要する 教科名等	受験を要する教科名	受験を要する 教科数
文 教 育 学 部	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）		5 教 科
理 学 部	国語 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）		4 教 科
家 政 学 部	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）		5 教 科

\*「現代社会」及び「理科Ⅰ」に、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者は、解答できない。

※「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」及び「工業数理」は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者のみ解答できる。

## 4. 出願手続

## (1) 出願書類等

1	出 願 カ ー ド	本学所定のもの。「出願カード記入上の注意」（P13）を参照しながら記入すること。「平成2年度大学入試センター試験成績請求票」（A用）を所定欄に貼付すること。
2	入学志願者マーク・カード	「入学志願者マーク・カード記入上の注意」（P15）をよく読み、本学所定のマーク・カードに記入すること。
3	あ て 名 票	合格通知その他に使用するので、本学所定の用紙に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入すること。郵便切手は貼付しないでよい。
4	調 査 書	出身学校長が作成し厳封したもの。ただし、出願資格(3)に該当する者は、当該試験等の成績証明書を提出すること。
5	健 康 診 断 書	昭和63年3月以前の高専卒業生及び出願資格(3)に該当する者は「視力、色覚、聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書（様式は特に定めない。）を提出すること。ただし、平成元年3月高専卒業生及び平成2年3月高専卒業生見込みの者は提出しなくてよい。
6	検 定 料	郵便局振出しの13,000円の「普通郵便為替」として受取人指定欄に「お茶の水女子大学」とのみ書くこと。 注) 1. 第1段階選抜の不合格者に対しては、11,000円を返還する。 2. 上記の1に該当する者は、平成2年3月31日までに申し出ること。 3. なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
7	検 定 料 納 付 書 (原符・領収証書)	本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入し、志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し42円切手を貼付すること。
8	受 験 許 可 書	他大学在学者に限り学長・学部長・学生部長のいずれかが証明したものを提出すること（様式は特に定めない）。
9	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に、272円切手（速達料を含む）を貼付し、志願者の住所・氏名及び郵便番号を記入すること。

## (注1) 推薦入学合格者

国公立大学（私立産業医科大学を含む。）の推薦入学に合格した者は、本学を受験しても入学許可は得られない。

※ 当該大学に「推薦入学辞退願」を提出し許可を得た場合を除く。

(注2) 本学の推薦入学の志願者で、合格とならなかった者が、同一の学部志願する場合は、上記出願書類等のうち、1. 2. 6. 7. 9. のみとする。

(注3) 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

## (2) 出願方法

1. 出願書類を一括して、本学所定の封筒を用い書留速達で下記あてに郵送すること。

文教育学部志願者……文教育学部事務部

理学部志願者………理学部事務部

家政学部志願者………家政学部事務部

封筒下欄の志願者欄に住所、氏名、第1志望学科及び専攻名等を明記すること。

なお、次に該当する志願者は、A・Bのいずれかを記入すること。

文教育学部 地理学科、教育学科（心理学）、  
舞踊教育学科（舞踊教育学）

家政 学部 児童学科、被服学科、家庭経営  
学科

2. 文教育学部の入学志願者は、同一学部内に限り第二志望まで出願できる。ただし、数学を選択した者は、地理学科、教育学科（心理学）及び舞踊教育学科（舞踊教育学）の範囲に限る。

家政学部の入学志願者は、同一学部内に限り第二志望まで認める。ただし、国語を選択した者は、食物学科を第二志望とすることはできない。

理学部は第二志望を認めない。

学部間の併願は認めない。

（注）本学では、全学部が連続方式の「A日程グループ」により、入学試験を実施する。

本学に出願した場合は、連続方式の「A日程グループ」及び分離分割方式の「前期日程グループ」の他の大学・学部に出願することができない。

## 5. 出願期間

平成2年1月22日（月）から1月31日（水）までの間に必着するよう郵送すること。

ただし、1月29日（月）以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

## 6. 入学者の選抜方法

## (1) 第1段階選抜

## 1. 選抜方法

各学部とも出願者多数の場合に限り第1段階選抜を行うことがある。

文教育学部	大学入試センター試験の各教科の得点を合計したものを受験者成績とし、得点順に入学定員（推薦入学合格者数を除く。）の約6倍を合格者とする。
理 学 部	大学入試センター試験の国語（50点）、数学（50点）、理科（50点）、外国語（100点）の各教科の得点を合計したものを受験者成績とする。 各学科とも、得点順に入学定員（推薦入学合格者数を除く。）の約6倍を合格者とする。
家 政 学 部	大学入試センター試験の各教科の得点を合計したものを受験者成績とし、得点順に入学定員（推薦入学合格者数を除く。）の約6倍を合格者とする。

2. 第1段階選抜の実施の有無及び実施の結果については、次の①又は②により発表する。

① 第1段階選抜実施の有無	2月5日（月）の午後、学内本部棟前掲示板に掲示するとともに、実施しない場合は、志願者全員に「受験票」と「受験者心得」を郵送する。
② 第1段階選抜を実施した場合	2月8日（木）の午後、学内本部棟前掲示板に選抜の結果を発表する。合格者には「受験票」と「受験者心得」を、合格とならなかった者には、「選抜結果通知書」及び「検定料返還金請求書」を郵送する。

- (2) 第1段階選抜合格者に対して、本学の入学試験を課し、その結果と大学入試センター試験成績、調査書並びに健康診断書を総合して合格者を判定する。

## (3) 本学の入学試験

- ① 期 日 平成2年2月25日（日） 学力検査  
2月26日（月） 実技検査

## ② 学力検査

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目		備 考
※ 文教育学部	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 国 文 学 科 外 国 文 学 科 教 育 学 科 (教 育 学) (心 理 学) 舞 踊 教 育 学 科 (舞 踊 教 育 学) (音 楽 教 育 学)	A	国語Ⅰ・Ⅱ、古典 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から 1か国語選択)	舞踊教育学科(舞踊教育学、音楽教育学)の志望者にはほかに実技検査を行う。
	地 理 学 科 教 育 学 科 (心 理 学) 舞 踊 教 育 学 科 (舞 踊 教 育 学)	B	数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計* 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から 1か国語選択)	
理学部	数 学 科		数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計* ○物理、○化学、○生物、○印の科目うち1科目を選択	
	物 理 学 科		数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計* 物理	
	化 学 科		数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*、化学 ○物理、○生物、○印の科目うち1科目を選択	
	生 物 学 科		数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*、生物 ○物理、○化学、○印の科目うち1科目を選択	
☆ 家 政 学 部	児 童 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	A	国語Ⅰ・Ⅱ、古典 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から 1か国語選択)	
	児 童 学 科 食 物 学 科 被 服 学 科 家 庭 経 営 学 科	B	数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計* 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から 1か国語選択)	

\* 数学については高等学校学習指導要領中、確率・統計の内容のうち「(1)資料の整理」、「(4)確率分布」及び「(5)統計的な推測」を除く。

※ 地理学科、教育学科(心理学)及び舞踊教育学科(舞踊教育学)志望者は、A・Bいずれで受験してもよい。

☆ 児童学科、被服学科及び家庭経営学科志望者は、A・Bいずれで受験してもよい。食物学科はBで受験のこと。

## ③ 実技検査

○ 舞踊教育学志望者(第一志望、第二志望とも)に次の2種の検査を行う。

① ダンス(全員に課する)……………与えられた基礎運動及び創作

なお、希望者はこのほかに各種舞踊を加えてもよい。

② スポーツ(次のア～オから1種目を選択)

ア. 陸上競技(短距離走)

イ. 器械運動(マット運動)

ウ. バレーボール

エ. バスケットボール

オ. テニス(硬式又は軟式)

※ 本学所定の実技関係の調査用紙「そのⅠ実技検査の選択科目に関する調査」及び「そのⅡ舞踊と体育活動に関する調査」を本人が記入し出願書類と一緒に送ること。

○ 音楽教育学志望者（第一志望、第二志望とも）に次の検査を行う。

① ソルフージュ

ア. 聴音：1～4声部

イ. 新曲視唱

② 声 楽

下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。

（i）イタリア古典歌曲（原語）1曲を自由選択

（ii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕、及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択

（iii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕、及びアリア（原語・原調）1曲を自由選択

なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜（複写譜も可）に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない。）

③ ピ ア ノ

下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。

（i）J・S・バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）から1曲を自由選択

（ii）J・S・バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕、及びベートーヴェンのピアノソナタから、1つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く。）

（iii）J・S・バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕、及びショパンの練習曲集（作品10、作品25）から、2曲を自由選択

(4) 平成2年度 入学者選抜配点比率

学部名	学科名	試験の区分	教 科 等					配点合計	備 考
			国 語	社 会	数 学	理 科	外国語		
文 教 育 学 部	A 全 学 科	入試センター試験	100点	50点	100点	50点	100点	400点	舞踊教育学科舞踊教育学・音楽教育学は実技検査を課し、総合判定の資料とする。
		本 学 の 試 験	200	—	—	—	200	400	
		計	300	50	100	50	300	800	
	B 地 理 育 教 (心理) 舞 (舞踊)	入試センター試験	100	50	100	50	100	400	
		本 学 の 試 験	—	—	200	—	200	400	
		計	100	50	300	50	300	800	

学部名	試験の区分	教 科 等					計	入試センター試験（250点）と、 本学の試験（400点）の成績を もとに合格判定を行う。
		国 語	数 学	理 科	外国語			
理 学 部	入試センター試験	50点	50点	50点	100点		250点	
		数 学	数 学	物 理	化 学	生 物	計	
	数 学 科	100*	200	(100)	(100)	(100)	400点	
	物理学科	100*	100	200			400	
	化学科	100*		(100)	200	(100)	400	
	生物学科	100*		(100)	(100)	200	400	

\*数学の科目のうち、「微分・積分」を除く。 ( ) から1科目を選択



学部名	学科名	試験の区分	教科等					配点合計	備考
			国語	社会	数学	理科	外国語		
家政学部	A 児童被服 家庭経営	入試センター試験	100点	50点	100点	50点	100点	400点	
		本学の試験	200	—	—	—	200	400	
		計	300	50	100	50	300	800	
	B 児童食被服 家庭経営	入試センター試験	100	50	100	50	100	400	
		本学の試験	—	—	200	—	200	400	
		計	100	50	300	50	300	800	

注) 三学部とも入試センター試験の理科を2科目以上受験した場合は、高得点の科目の成績を用いる。

(5) 入学試験日時割

学部・学科等		日 時	2月25日(日)	26日(月)
文教教育学部	哲学 史学 地理学 国文学 外国文学 教育学 (教育学) (心理学)	A	国語 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50
	地理学 教育学科(心理学)	B	数学 10:00~11:10	
	舞踊教育学 (舞踊教育学) (音楽教育学)	A	国語 10:00~11:40	
	舞踊教育学 (舞踊教育学)	B	数学 10:00~11:10	
理学部	数学科	数学 10:00~11:10	数学・選択(物理、化学、生物) 13:10~16:10	実技(第一志望、第二志望とも) 10:00~
	物理学科		物理・数学 13:10~16:10	
	化学科		化学・選択(物理、生物) 13:10~16:10	
	生物学科		生物・選択(物理、化学) 13:10~16:10	
家政学部	児童被服 家庭経営学科	A	国語 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50
	児童食被服 家庭経営学科	B	数学 10:00~11:10	

## (6) 身体に障害のある者の出願

本学に入学を志望する者で、次表に該当する者は、本学への出願に先立ち下記書類を同封の上、12月22日（金）までに入学主幹室へ申し出ること。

## ① 高等学校長名の身体障害者の受験願

## ② 診 断 書

## ③ 障害者手帳の写し

この申し出は、受験上、修学上特別の配慮が必要となる場合が起こりうるので、あらかじめその状況を把握するものである。

障害の種類別	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	1. 視覚による教育が不可能又は著しく困難なもので、主として触覚及び聴覚など視覚以外の感覚を利用して教育すべきもの（両眼矯正視力0.04未満のもの） 2. 視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮を必要とするもの（両眼矯正視力0.04以上0.1未満のもの）
聴 覚 障 害 者	1. 両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの 2. 両耳の聴力レベルが100デシベル未満60デシベル以上のもののうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 体幹の機能の障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2. 上肢の機能の障害が、筆記又は実験・実習をすることが不可能又は困難な程度のもの 3. 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの
病 弱 者	1. 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状況が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	1. 上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有するもの

7. 検査場所 お茶の水女子大学（東京都文京区大塚2丁目1番1号）

## 8. 合格発表

3月16日（金）12時頃 学内本部棟前掲示板に発表する。

（注）電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

合格者には、発表当日、合格通知書及び入学の関係書類を本学の入学試験の受験票と引き替えに入学手続場所にて交付する。（合格者の代理人でも差し支えない。）ただし、16時までに受領しない者については、郵送する。

※ 電子郵便による合格者受験番号表送付希望について

(1) 申込方法：入学試験受験票を郵送する際、所定の用紙を同封するので希望者は必要事項を記入し510円切手を貼付の上、試験当日持参し、申し込むこと。

(2) 申込日時：2月25日（日）11時30分～16時30分

(3) 申込場所：本学講堂

(4) 受 付 者：小石川郵便局職員

(5) 発 信 日：3月16日（金）

(6) 電子郵便の内容：志願した学部ごとに合格者全員の受験番号が記載されている。従ってこれに自分の受験番号がのっていない場合は不合格である。

（注）上記の電子郵便以外の合否電報等は、本学とは一切関係ないので注意すること。

## 9. 入学手続等

## (1) 入学手続

手続期間	3月19日(月) 10:00~12:00、13:00~16:00 20日(火) 10:00~12:00、13:00~16:00 ただし、都合により上記日時に手続が行えなかった者は、3月27日(火)10時~17時に手続を行うこと。 3月27日までに手続をしない者は、入学を辞退したものと取り扱う。
手続場所	本学一般教育2号館
留意事項	本学に入学手続を完了した後にこれを取り消して他の国公立大学(私立産業医科大学を含む。)に入学手続をすることはできない。

## (2) 手続事項

提出書類	平成2年度大学入試センター試験受験票
入 学 料	206,000円
授 業 料	169,800円(前期分) (注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。 (注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。

## 10. 追加合格通知

欠員が生じた場合は、3月28日以降に電話で追加合格の通知を行うことがあるので、本学からの連絡が確実に受けられるようにしておくこと。

## 11. 問い合わせ先

お茶の水女子大学 入学主幹室 入試・一般教育係

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

電話 東京(03)943-3151(大代表)

## 12. テレホンサービスについて

## ○出願状況のテレホンサービス

1. 実施期間等 平成2年1月23日(火)~2月1日(木)  
前日の17時現在の状況を翌日提供します。

2. テレホンサービスの内容 各学科等の倍率

3. 電話番号 03(946)5109(通話料は有料です。)

※ 第1段階選抜結果(2月8日発表)及び追加合格を行う学科等についても上記と同様にテレホンサービスを行う予定です。

## ○新設学科の募集の有無等のテレホンサービス

1. 実施期間等 平成2年1月5日(金)~1月22日(月)
2. テレホンサービスの内容 新設学科の募集の有無等
3. 電話番号 03(942)2145(通話料は有料です。)

## 平成2年度お茶の水女子大学における学科の新設計画について

本学では、平成2年度から次のような学科の新設を計画している。

この計画については、関係法令の制定及び平成2年度予算の成立との関連から現在未確定であるが、詳細は、政府予算案の決定後、平成2年1月頃追加学生募集要項を発表する予定である。

## 新設予定の学科

理 学 部    情報科学科    入学定員 40名

現在、本学において計画している概要は、次のとおりである。

本学科では、自然現象から派生する様々な情報を基

礎科学的に捉え、その処理を可能とする数理的教育を行い、単なる情報技術者の養成でなく、自然科学の幅広い知識を備えた情報科学の研究者・技術者を育成する学科である。

学科の構成は、情報数学、情報処理学、情報構造学、自然情報学の4講座を予定している。

\* 理学部情報科学科の募集の有無については、次のようにテレホンサービスを行う。

期 間 : 平成2年1月5日(金)～  
1月22日(月)

電話番号 : 03(942)2145

○平成2年度お茶の水女子大学大学院  
理学研究科修士課程学生第2次募集要項

## 1. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成2年度3月卒業見込の者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国の大学を卒業した者
- (4) 本学の大学院において、大学を卒業した者と同

等以上の学力があると認めた者

## 2. 選抜方法

- (1) 入学の選抜は、学力検査(筆記試験・口述試験)、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

## 3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
数 学	数名	2月1日(木) 9:20～10:50 11:00～12:30 13:30～15:30 16:30～	一般・基礎教育科目(微積分・線形代数・位相空間) 外国語①(英・独・仏・露のうちから2カ国語を選択) 専門科目(数学) 口述試験
物理学	数名	2月1日(木) 9:20～10:50 11:00～12:30 13:30～15:30 16:30～	一般・基礎教育科目(物理学) 外国語①(英・独・仏・露のうちから2カ国語を選択) 専門科目(物理学) 口述試験

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
化 学	数名	2月1日(木) 10:30~12:00 13:00~16:00	一般・基礎教育科目※(「化学」及び「物理学」又は「生物学」) 専門科目(化学)
		2月2日(金) 10:00~12:00 13:30~	外国語②(英・独・仏・露のうちから2カ国語を選択) 口述試験
生物学	数名	2月1日(木) 10:00~12:00 13:00~16:00 16:30~	外国語③(英語) 専門科目(生物学の諸分野から出題した約12問から4問を選択) 口述試験

※「物理学」又は「生物学」のうち1科目を選択すること。ただし、志望区分「化F」志望者は第1志望、第2志望を問わず「物理学」を選択すること。

- ① 英語以外の1カ国語について辞書の使用を認める。
- ② いずれか1カ国語について辞書の使用を認める。
- ③ 辞書の使用は認めない。

#### 4. 出願期間

平成2年1月16日(火)から1月19日(金)まで。  
なお、郵送する場合は、必ず書留で「大学院理学研究科入学願書」と朱書すること。(1月19日消印有効)

#### 5. 出願手続

##### (1) 願書受付

ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部  
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
電話：東京(03) 943-3151(大代表)  
イ 時間 午前9時から午後3時まで

##### (2) 提出書類等

- ア 志願者名票、受験票及び履歴書(本学所定の用紙)
- イ 卒業(又は見込)証明書
- ウ 健康診断書(本学所定の用紙)
- エ 調査書(本学所定の用紙)
- オ 検定料22,000円 現金又は郵便為替
- カ 受験承諾書 在職者及び他の大学の大学院在籍者は、所属長の承諾書を提出すること。(様式随意)
- キ 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、62円切手を貼った定型郵便物用封筒を同封すること。

#### 6. 合格者の発表

- (1) 2月8日(木)正午の予定。理学部1号館内掲示板に掲示するとともに、合格通知書を送付する。
- (2) 入学手続関係書類は、平成2年3月中旬に送付する。

#### 7. 修了の条件及び学費

- (1) 修業年限は2年以上とする。
- (2) 総計30単位以上修得すること。
- (3) 課程の修了には前2項のほか、学位論文を提出して最終試験に合格することを必要とする。
- (4) 入学科206,000円、授業料年額339,600円

#### 8. その他

- (1) 出願後、書類の変更や検定料の払い戻しは行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、72円切手を貼った定型郵便物用封筒(23.5cm×12cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒(切手貼付)を同封し、必ず返信先を明記すること。

#### 9. 大学所在地案内

都営バス 大塚2丁目停留所前  
地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩約5分  
地下鉄 有楽町線 護国寺駅(音羽口)から徒歩 約5分

○平成2年度お茶の水女子大学大学院  
理学研究科（修士課程）各専攻課程の研究概要

1. 数学専攻課程

志望区分	担当教官	主な研究分野
数A (解析学)	教授 澤島 侑子 教授 高村 幸男 教授 渡辺ヒサ子 助教授 前田ミチエ 助教授 竹尾富貴子	関数解析と実解析 関数解析と偏微分方程式 ポテンシャル論 測度論 作用素論
数B (代数学)	教授 小山 敏子 教授 藤原 正彦 助教授 桂 利行	群論 数論、代数群 代数幾何学
数C (幾何学)	教授 小川 洋輔 助教授 塚田 和美	微分幾何 微分幾何

2. 物理学専攻課程

志望区分	担当教官	主な研究分野
物 A	助教授 菅本 晶夫	素粒子論
物 B	教授 伊藤 敬 助教授 佐藤 浩史	原子・分子の構造と衝突の理論
物 C	教授 橋爪 夏樹※ 教授 柴田 文明	
物 D	助教授 太田 隆夫	統計力学 不可逆過程の理論
物 E	教授 田中 翠 教授 伊藤 厚子 教授 池田 宏信 教授 富永 靖徳	物性理論、非平衡開放系の理論 磁性体の構造と相転移（メスバウア分光・磁化測定） ランダム磁性体の静的・動的構造（メスバウア分光・磁化測定・中性子散乱） 平衡・非平衡系の相転移（中性子散乱・磁化測定） 誘導体・生体物質の構造とダイナミクス（光散乱分光・誘電測定）

※ 本年度は、研究指導は行わない。

## 3. 化学専攻課程

志望区分	担 当 教 官	主 な 研 究 分 野
化 (A 物 理 化 学)	助教授 今野美智子	生体物質の結晶構造及び反応機構の研究
化 (B 無 機 化 学)	教 授 福田 豊	特殊な機能を持つ錯体の研究
化 (C 有 機 化 学)	教 授 前田 侯子 助教授 永野 肇	有機光化学反応の研究 天然物有機化学ー主としてテルペン類の研究
化 (D 生 物 化 学)	教 授 瀬野 信子 助教授 松本 勲武	細胞間マトリックス複合糖質の生化学的研究 生体物質間（特にレクチンと糖）の特異的相互作用
化 (E 分 析 化 学)	教 授 富田 功 助教授 藤枝 修子	分析化学的に興味のある化学反応特にイオン交換反応の研究 化学現象の計測に関する研究
化 (F 構 造 化 学)	教 授 細矢 治夫	分子の電子構造、化学情報の研究

## 4. 生物学専攻課程

担 当 教 官	主 な 研 究 分 野
教 授 太田 次郎※	粘菌類の運動と形態形成に関する研究
教 授 新関 滋也	高等植物の生殖生理
教 授 能村 堆子	細胞運動機能
教 授 清水 碩	植物の老化、クロロフィルの代謝
教 授 遠山 益	光合成器官の形態形成、細胞組織培養法の開発
教 授 石和 貞男	ショウジョウバエを主とした進化・集団遺伝学
助教授 山下 貴司	単子葉植物の発生と系統
助教授 馬場 昭次	繊毛運動の生理学
助教授 林 正男	高等動物の生化学・細胞生物学、フィブロネクチン、ビトロネクチン
助教授 渡辺 洋子	海綿動物を主とした発生及び系統
助教授 芦原 坦	培養細胞系を用いた植物の代謝制御機構の解析
助教授 根本 心一 (臨海実験所)	棘皮動物を主とした発生機構
教 授 内嶋善兵衛 (環境科学)	気象・気候環境の変化と植物生産

※ 本年度は、研究指導は行わない。

## 諸 報

### ○学長懇話会について

国立15大学学長懇話会が、10月20日（金）大学院人間文化研究科会議室において開催された。

出席大学は、以下のとおりです。

小樽商科大学	京都工芸繊維大学
帯広畜産大学	大阪外国語大学
図書館情報大学	神戸商船大学
東京外国語大学	奈良女子大学
東京芸術大学	九州芸術工科大学
東京商船大学	鹿屋体育大学
東京水産大学	お茶の水女子大学
電気通信大学	

### ○学位記授与式について

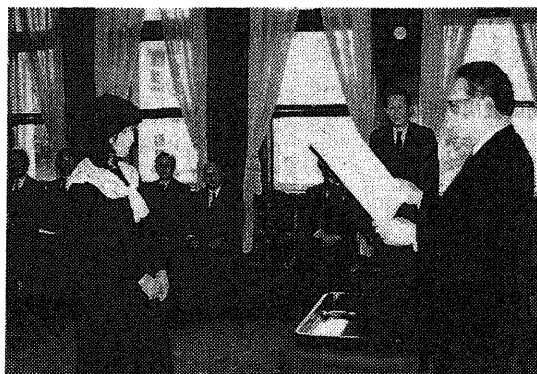
学位記授与式（論文博士）が、12月12日（火）大学会議室（家政学部本館2階）において行われ、下記の者に学術博士の称号が授与された。

博乙第17号 大町英理子

論文題目「Riemann多様体の曲率テンソルについて」

博乙第18号 曹 圭和

論文題目「韓国における文様の造形的特性に関する研究——植物文様の展開を中心に——」



### ○奨学金授与式について

平成元年度奨学金授与式が11月22日（水）大学会議室（家政学部本館2階）で行われた

平成元年度 奨学金受奨者

・保井・黒田奨学金受奨者

第42号 大町 英理子（人間文化研究科助手）

研究題目：「Riemann多様体の曲率テンソルについて」

・被服学奨学金受奨者

第47号 川端 博子（被服学科 非常勤講師）

研究題目：「衣服庄に関する研究」

・食物学奨学金受奨者

第40号 金 和子（食物学科 教務補佐員）

研究題目：「食品の香気に関する研究」

第41号 松本 美鈴（食物学科 非常勤講師）

研究題目：「植物性タンパク質に関する調理科学的研究」

・家庭経営学奨学金受奨者

第31号 犬塚 都子（家庭経営学科 教務補佐員）

研究題目：「明治期の家庭観と家政思想」

・人間文化研究科奨学金受奨者

第7号 谷田貝麻美子（人間文化研究科 助手）

研究題目：「油汚れの洗浄過程における界面活性剤・水・油性物質3成分液晶相の形成について」

第8号 木村 美智子（人間文化研究科 59年度生）

研究題目：「洗浄過程におけるビルダーの役割に関する研究」

第9号 河 貴現（人間文化研究科 60年度生）

研究題目：「油脂の自動酸化時におけるトコフェロール類の抗酸化作用と分解機構について」

・池田摩耶子記念奨学金受奨者

第6号 姜 戊愛（大学院人文科学研究科教育学専攻2年）

研究題目：「韓国人留学生の対日イメージ及び異文化適応」



第7号 胡 慶華（大学院人文科学研究科日本  
文学専攻2年）

研究題目：「日本近代文学の研究およ  
び日本語教育についての修  
練」

第8号 陳 碧雲（大学院人文科学研究科哲学  
専攻2年）

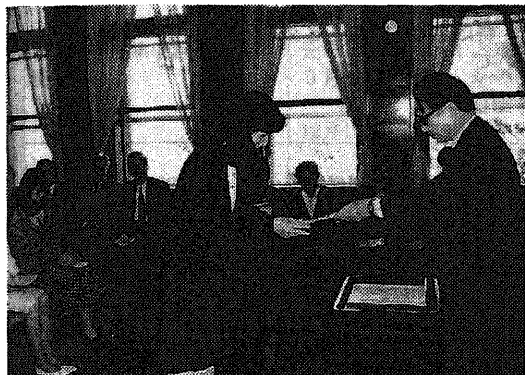
研究題目：「日本における仏教思想  
—その受容と変化に現れる  
日本人の心性について—」

第9号 陳 錦（大学院人文科学研究科教育  
学専攻2年）

研究題目：「中国に於ける農村成人教  
育—建国後を中心に—」

第10号 白 銀珠（大学院家政学研究科児童学  
専攻2年）

研究題目：「児童期から青年期にわた  
っての老人観」



## ○永年勤続者表彰について

平成元年度永年勤続者表彰式及び文部省永年勤続者表彰状伝達式が平成元年11月21日大学会議室で行われ、被表彰者には、表彰状並びに記念品が授与されました。

被表彰者は次のとおりです。

学長表彰者	理学部	細矢 治夫
	"	藤原 正彦
	"	石和 貞男
	"	前田 ミチエ
	"	石毛 正義
	"	堀 佳也子
	家政学部	森田 明
	附属中学校	佐々木和枝
	"	益地 憲一
	附属高等学校	古屋 孝子
	庶務課	吉成 政行
	厚生課	岩佐 賢三
文部大臣表彰者	学生課	竹内 實



## ○科学研究費補助金交付決定について

種 目	研究代表者所属・職	氏 名	決定額 (千円)	研 究 課 題
一般研究 (C)	家政学部・助教授	小 川 昭二郎	1,500	キトサンを用いた消息フィルムの開発研究

## ○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
文教育学部 教 授	大 宮 誠	アメリカ合衆国	国際シンポジウム出席・研究討議・ 楽譜及び楽器調査	元. 9. 25～ 元. 10. 22	研 修
家 政 学 部 講 師	田 辺 新 一	シンガポール 共和国 マレーシア	シンガポール大学地理学科にて研究 打合せASHRAE極東会議にて論文 発表	元. 10. 23～ 元. 10. 29	出 張
家 政 学 部 助 教 授	小 川 昭二郎	タイ王国	「日本ーアジアの産業・技術交流と その動向」に関する国際シンポジウム 参加	元. 10. 31～ 元. 11. 5	研 修
理 学 部 教 授	瀬 野 信 子	オーストラリ ア連邦	汎太平洋結合組織学会シンポジウム に発表および研究連絡のため	元. 11. 5～ 元. 11. 14	研 修
生活環境研 究センター 教 授	五十嵐 脩	カナダ・スイス 連邦連合王国 ドイツ連邦共和国 フランス共和国 フィンランド共 和国・デンマ ーク王国	脂質の代謝・特に必須脂肪酸とビタ ミンEについて	元. 9. 16～ 元. 11. 15	出 張
附属高等学校 教 諭	小田川 恭 子	アメリカ合衆国 デンマーク王国 ドイツ連邦共和国 フランス共和国	平成元年度国立大学学部附属学校等 教官海外教育事情視察のため	元. 10. 26～ 元. 11. 19	出 張
文教育学部 助 教 授	石 黒 節 子	連合王国 フランス共和国 ドイツ連邦共和国	舞踊教育の制度と内容に関する資料 収集	元. 9. 1～ 元. 11. 19	出 張
家 政 学 部 教 授	中 村 隆 英	ハンガリー人 民共和国 オーストリア 共和国	「自由化の試み：ハンガリーの経済政 策と国際的経験」の会議に出席報告 及び研究連絡	元. 11. 12～ 元. 11. 23	研 修
文教育学部 教 授	徳 丸 吉 彦	アメリカ合衆国	民族音楽学関係に関する資料収集	元. 11. 17～ 元. 11. 24	研 修
附属小学校 教 諭	星 野 征 男	アメリカ合衆国	平成元年度在外教育施設教育事情等 調査	元. 11. 17～ 元. 11. 26	出 張
文教育学部 助 教 授	久 保 幸 夫	台湾	「中日工程技術検討会」出席	元. 11. 19～ 元. 11. 26	研 修
生活環境研 究センター 教 授	倉 田 忠 男	大韓民国	香辛料に対する嗜好性形成に関する 共同研究打合せのため	元. 11. 23～ 元. 11. 26	出 張
文教育学部 助 教 授	田 宮 兵 衛	エジプト アラブ共和国	気候変動と水管理に関する国際セミ ナー出席及び水管理関連施設の見学	元. 12. 7～ 元. 12. 17	出 張

## ○研修

名 称	実施期日	対 象 者	修 了 者	主 催
平成元年度関東・甲信越地区国立学校等係長研修	平成元年 10月17日 ┌ 10月20日	(1)係長又は係長相当の職にある者 (2)年令50歳以下の者 (3)勤務成績が優秀な者	庶務課大学院係長 村山正栄 学生課学生係長 上島正彦 附属図書館閲覧係長 池田容子	文部省及び筑波大学、東京芸術大学
第24回関東甲信越地区国立大学等会計事務職員研修会	平成元年 10月16日 ┌ 10月20日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有するもの	会計課一般係員 岡崎芳雄 会計課一般係員 吉井 稔	文部省及び茨城大学
平成元年度国立学校等課長(事務長)補佐研修	元年 10月30日 ┌ 11月2日	国立学校等の課長補佐及び事務長補佐で、原則として年令50歳以下の者のうち、各機関の長の推薦を受けて、文部省大臣官房人事課長が決定する。但し、平成元年4月1日以降新たに就任した者を中心とする	学生課長補佐 高野佳征	文部省及び東京大学
平成元年度大学図書館職員講習会	元年 11月13日 ┌ 11月16日	大学等の図書館(室)において、2年以上の勤務経験年数を有する35才以下の中堅職員	附属図書館一般係員 猿丸万喜子	文部省及び東京大学附属図書館
平成元年度第98回会計事務職員研修	元年 9月5日 ┌ 12月15日	1. 現在会計事務に従事し、かつ1年以上会計事務の経験を有する職員 2. 勤務成績が優秀で将来会計事務職員の幹部となるにふさわしい人格、識見及び教養を備え、この研修の結果に基づき、他の職員に対して指導的役割を果たすことができると認められた職員 3. 高等学校以上の学校を卒業した職員又は推薦者がこれと同程度以上の学力があると認めた職員	会計課一般係員 柴田正造	文部省

## ○平成元年度健康診断

事 項	実施期日	対 象 者	受 診 者 数	実施場所
肝臓機能検査	平成元年 11月16日～ 11月17日	4月1日現在満40歳以上の職員。ただし、人間ドック、特別定期健康診断受診者及び遠隔地勤務者を除く。	87人	保健管理センター
胃の検査(第一次)	平成元年 11月16日～ 11月17日	4月1日現在満40歳以上の職員。ただし、昨年直接2次検診と判定された者。人間ドック受診者及び妊娠中の女子職員を除く。	62人	保健管理センター 前集団検診車
遠隔地勤務者健康診断	平成元年 11月15日	志賀高原体育運動場、理学部附属臨海実験所及び館山野外教育施設勤務者	6人	長野県中野保健所 千葉県館山保健所

事 項	実施期 日	対 象 者	受 診 者 数	実施場所
職員一般定期健康診断 (第1回)	平成元年 10月19日～ 10月20日	全職員。ただし、人間ドック受診者及び遠隔地勤務者を除く。	210人	保健管理センター
職員一般定期健康診断 (第2回)	平成元年 11月15日	全職員。ただし、前回と人間ドックの受診者及び遠隔地勤務者を除く。	52人	保健管理センター

## ○レクリエーション行事

行 事 名	実施日時	参加者数	作 品 ・ 催 し も の 内 容	実施場所
平成元年度職員文化祭 (第5回)	平成元年 11月20日 ～ 11月22日	作品出展 18名 催しもの 7名 カラオケ 22名 来場者 113名	展示物 写真・盆栽・水彩画等59点 お茶会(職員茶道班主催) カラオケ大会(職員BGM班・音楽ダンス班主催)	文教育学部 第一会議室
平成元年度 職員ソフトボール大会	平成元年 10月28日 13時～16時	57人	優 勝 附属小学校チーム 準優勝 会計課チーム 第3位 文教育学部・家政学部チーム	大学グラウンド
平成元年度 職員硬式テニス大会	平成元年 10月21日 13時～16時	31人	優 勝 Eチーム(古山泉(附高)・谷田部玲生(附高)・谷田貝麻美子(人間文)・村山正栄(庶務)・斉藤正廣(会計)・岩田光夫(庶務)) 準優勝 Aチーム(福田豊(理学)・辺見張蔵(施設)・富山弘(庶務)・川上典子(附図)・入江孝信(庶務)・前田理知子(附学)) 3 位 Dチーム(石井朋子(附高)・三浦良子(附高)・三井田勝(会計)・吉井るり子(附図)・村田容常(家政)・阿部清(厚生))	高校テニス コート
平成元年度 職員ボウリング大会	平成元年 10月27日 18時～20時	45人	優 勝 三井田勝(会計)・岡田健一(厚生)・北村千秋(附学) 準優勝 西村光範(会計)・中村一吉(附学)・鈴木孝(会計) 3 位 八重樫博(施設)・浜木正巳(入主幹)・杉山進(文教) 得点1位486ピン 2位439ピン 3位419ピン (個人3ゲームのハイゲームトータル)	池袋 トーホー ボール
平成元年度 職員卓球大会	平成元年 11月25日 13時～17時	19人	優 勝 Dチーム(中村一吉(附学)・柴田文明(理学)・湯沢雅彦(家政)・荒木田美香子(附中)・千葉久雄(庶務)) 準優勝 Cチーム(田口裕子(附中)・池田宏信(理学)・熊谷とも子(附学)・井上泰次(附中))	大学体育館 及び附属小 学校体育館

## ○職員の住所等変更

## ○計報

村重嘉勝元文教育学部附属中学校教頭

村重嘉勝氏には心不全のため平成元年11月25日逝去されました。享年79才。ここに謹んで哀悼の意を表します。

## 日 誌

(元. 10. 16～元. 12. 15)

- 10月16日(月) 保井・黒田奨学金受奨者審査委員会  
第24回関東甲信越地区国立大学会計事務職員研修会(16日～20日於土浦)
- 17日(火) 部局長会議  
関東甲信越地区国立学校係長研修(17日～20日於国立婦人教育会館)
- 18日(水) 各学部教授会、各研究科委員会、  
女性文化研究センター運営委員会、  
学生部長候補者選挙  
留学生担当者研修会(18日～20日於国立婦人教育会館)
- 19日(木) 家政学研究科合格発表  
職員一般定期健康診断(19日～20日)  
小石川消防安全会・小石川防火管理者  
連絡研究会合同役員会
- 20日(金) 国立15大学学長懇話会
- 21日(土) 公開講座(第5回)
- 23日(月) 入学者選抜方法研究委員会
- 24日(火) 部局長会議  
防火管理者連絡会議(於文京区役所)
- 25日(水) 評議会、教務委員会、附属学校教育研究委員会  
池田摩耶子記念奨学金審査委員会

小学校・中学校長候補者選考委員会  
体育祭

26日(木) 関東甲信越地区国立大学庶務部課長会議(26日～27日於横浜市)

平成元年度国立22大学理学部長会議  
(於東京工業大学百年記念館)

27日(金) 第7回国立大学理学部長会議(於東京工業大学百年記念館)

28日(土) 公開講座(第6回)  
女子大学連盟総会(於広島女学院)

30日(月) 一般教育委員会  
平成元年度国立学校等課長(事務長)  
補佐研修(30日～2日於国立教育会館)

11月1日(水) 入学者選抜方法研究委員会  
学長候補者第1次選挙公示  
推薦入学試験願書受付(文教育学部・家政学部)(1日～7日)

2日(木) 附属小学校帰国子女教育学級検定・同合格発表

6日(月) 災害補償制度等担当者研修会(6日～10日於大手町合同庁舎)

7日(火) 学寮防火管理委員会、推薦入学願書受付(理学部)(7日～13日)  
文京区内大学と区の事務担当者協議会(於文京区役所)

8日(水) 人間文化研究科会議、附属小学校・中学校長候補者選考委員会、一般教育委員会、教務委員会  
平成元年度後期分授業料免除選考会、  
平成元年度日本育英会学部奨学生(1年第2次)選考会  
平成元年度厚生補導事務研修会(8日～10日於国立オリンピック記念青少年総合センター)

10日(金) 事務連絡会議

11日(土) 德音祭(11日～12日)

13日(月) 第3回東京地区大学入試センター試験  
に関する入試担当課長会議(於東京商船大学)

14日(火) 部局長会議

15日(水) 各学部教授会、各研究科委員会  
学長候補者第1次選挙、日本育英会奨学金返還説明会  
国立大学協会総会(於学士会館)

16日(木)教職課程専門委員会  
小石川寮防火訓練  
附属幼稚園第1次検定  
国立大学協会総会(於学士会館)

17日(金)公開講座委員会  
国立大学協会事務連絡会議(於学士会館)

19日(日)大山寮防火訓練

20日(月)日本育英会大学院予約奨学生選考会  
第5回職員文化祭(20日~22日)  
附属幼稚園第2次検定(3歳女子)

21日(火)部局長会議、学寮委員会、学寮協議会、  
附属学校委員会  
永年勤続者表彰式・懇談会  
附属幼稚園第2次検定(3歳男子)

22日(水)評議会、理学部臨時教授会、廃水管理  
委員会  
奨学金授与式  
学長候補者第2次選挙公示  
附属幼稚園第2次検定(4歳女兒)、  
附属中学校避難訓練  
大学図書館長との懇談会(於国立国会  
図書館)

24日(金)教務委員会  
附属幼稚園第2次検定(4歳男児)

25日(土)厚生補導関係職員研究会(25日~26日  
於箱根静雲荘)  
附属小学校避難訓練  
附属幼稚園合格発表

27日(月)教職課程専門委員会

28日(火)組織運営検討委員会起草委員会、附属  
学校連絡会議  
文部省人事課任用状況調査

29日(水)教務委員会  
文教学部推薦入学第2次選考(29日  
~30日)

30日(木)学生委員会、学寮委員会  
家政学部推薦入学第2次選考  
一般定期健康診断

12月1日(金)学生委員会、学寮委員会、学寮協議会

4日(月)理学部推薦入学第2次選考  
附属小学校第1次検定

5日(火)部局長会議、附属小学・中学校長候補  
者選考委員会

附属小学校第2次検定(5日~7日)

6日(水)評議会、各学部教授会、各研究科委員  
会  
学長候補者第2次選挙

7日(木)推薦入学試験合格発表  
第3回国立大学図書館協議シンポジウ  
ム(於海外職業訓練センター)

8日(金)事務連絡会議

9日(土)附属小学校入学候補者発表

11日(月)将来構想検討委員会、外国人留学生委  
員会

12日(火)部局長会議、附属学校連絡会議  
学位記(論文博士)授与式

13日(水)評議会、附属学校委員会、附属学校教  
育研究委員会